

小委員会の調査報告書

教科名	国語	委員長名 佐藤佳弘
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(木)から7月21日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、教育出版、東京書籍、光村図書、三省堂、の四者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各学科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>(1) デジタル教科書の充実はどのようにはかられているか。</p> <p>(2) ユニバーサルデザイン(UD)等特別な教育的配慮への対応はどうなっているか。</p>	
少数意見その他		

様式 2

教科名		国語				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい国語 1 2 3	1	三省堂	現代の国語 1 2 3
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○取扱内容については〔知識及び技能〕では、「言葉」「情報の扱い方」について各領域の中で繰り返し扱うともに取り立て学習教材も設けられている。「広がる言葉」「言葉を広げよう」で1555の語彙を提示して生徒の語彙を増やす手立てを講じている。「学びの扉／学びを支える言葉の力」は言語能力の3側面から系統立て、情報の扱い方、表現の仕方やコミュニケーションの基盤が身につけられるようにしている。〔思考力・判断力・表現力等〕では領域ごとの学習ポイントを「言葉の力」として明示している。〔学びに向かう力、人間性等〕では巻頭扉で国語学習の意義を示している。またキャラクターの使用、物語やゲームを取り入れた教材、漫画による導入など学習意欲を高める仕掛けを工夫している。</p> <p>○内容の構成・排列については、各教材の「言葉の力」は「読むこと」から「書くこと」「話すこと・聞くこと」につながるように配置している。巻頭の「○年で学んだこと、学ぶこと」で既習事項を振り返ったり見通しを持ったりできる工夫をしている。</p>			<p>○取扱内容については、全学年を通して〔主体的に学ぶ〕では、①自ら学ぶ力を育てる、として身についた力を自己診断・評価する機会を設け、「学びの道しるべ」で学習プロセスを示している。②活用できる力を育てる、として「読み方を学ぼう」で読みの方略を図解している。また資料編に「『思考の方法』一覧」を示している。〔対話をとおして学ぶ〕では、③かかわる力を育てる、としてグループディスカッションなど対話を通して日常生活や現代社会の課題を考えたり問題解決する機会を充実させている。④共生社会の一員として、としてグローバル社会で求められる幅広い資質・能力の育成につながる題材を精選している。〔深く学ぶ〕では、⑤自分の考えをつくる、として全ての教材において自分の考えを形成する学習過程を重視している。⑥言葉と文化の担い手として、として「読書の広場」に多様なジャンルから5本の教材を配置している。</p> <p>○内容の構成・排列については、小学校からの接続や無理なく段階的系統的に国語の力を配置している。</p>		
使用上の配慮等	<p>○全国学力学習状況調査や大学入試共通テストで求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動の題材を選定している。また、文章や図表から読み取った情報を結びつけてまとめたり、条件に従って考えを記述したりする設問を積極的に設けている。</p> <p>○「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」、資料編、Dマークで示した資料（デジタルコンテンツ）を中心に、家庭でも学ぶことのできる内容が豊富であり、予習・復習に活用できる。</p>			<p>○幅広い知識を身につけ、自主及び自律の精神を養うことに資するものとして、様々な学習機会を捉えて繰り返し活用できる実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめている。</p>		
その他	<p>○デジタル教科書の整備状況については、教育のICT化への取組としてインターネットを通して利用できる音声や映像資料（デジタルコンテンツ）が用意されている。「話す・聞く」の音声や「古典」の朗読・資料映像、「文法ゲーム」などをスマートフォンやタブレットからも活用できる。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、文字の大きさ、書体、罫線や囲みの使い方、色遣いについて専門家の校閲を受けている。また人権上の配慮、環境への配慮を行っている。</p>			<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、カラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと誰にでも見やすく学びやすい配色となるような工夫とともに、色だけの違いに頼らず、形の違いや記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けている。</p>		

様式 2

教科名		国語				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		教育出版	伝え合う言葉 中学国語123	3	光村図書	国語123
取扱内容	<p>○取扱内容については、新たな学びの課題に対応し、「資質・能力」育成の具現化を目指した内容の工夫として、各教材での言語活動の「過程の明確化」「重点の提示」「段階の整理」「目標・振り返り」を行っている。</p> <p>・各領域の教材で、学習に関わる語彙や表現をまとめ、教材の中の多様な情報（内容）のつながりを把握し、活用する力を育成できるようにしている。</p> <p>・現代社会、国際社会におけるさまざまな課題について、言葉との関わりを踏まえながら、主体的に身のまわりの話題や事象をもとに考えていく教材が設けられている。</p>			<p>○取扱内容については、学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」について、見開き2ページで解説するコンパクトな教材を設けている。古典では伝統的な言語文化の豊かさを感じ、期待を高められるよう、鮮やかなイラストとともに多彩な作品を紹介している。文学的文章は名作に加え、現代を代表する作家の書き下ろしなど読み応えある作品を配置している。</p> <p>○内容の構成・排列については、「知識及び技能」に示された内容を確実に押さえ、それを活用して各領域の言語活動を行うことで「思考力、判断力、表現力等」を無理なく高めていける構成としている。各学年八つのまとまりで教材を構成している。3学期制、2学期のどちらにも対応するよう教材数・領域のバランスを工夫している。各学年巻末に、本編の補充学習・発展学習に資するよう資料となる教材を掲載している。また、全体を上下2組に整理し、上段は「学習の流れ」として「見通し」「学習課題」「振り返り」を配置し、下段は「支え」として「学習の窓」で汎用性のある学習ポイントを図解している。</p>		
構成・排列	<p>○内容の構成・排列については、「主体的、対話的で深い学び」を実現するための教科書構成の二大特徴として、①単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組をとおして言葉の力を高めている。②学習内容を明確化する「学びナビ」を設定し、課題解決の手順や思考の方法について可視化したり取り立てたり、関連させたりしながら自ら学びに向かう力を身につけられるようにしている。</p>					
使用上の配慮等	<p>○国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」と深く関係した国語科の課題、学習者を取り巻く課題を考えるための七つのキーワードを設定し、言葉によるもの見方や考え方を多面的に捉え、学習者が未来の世界を変えるための知識と力を獲得できるようにしている。</p> <p>○Webサイトをとおして教材に関わる資料などを見ることができる「まなびリンク」を設定している。</p> <p>○学びを広げるための資料、自分の力で取り組むための資料などが用意されている。</p>			<p>○漢字を学習する場では、点画の書き方や筆使いの見本となるよう、手書き文字に近い自社開発の教科書体を使用している。</p> <p>○教科書の中で「二次元コード（QRコード）」が示された箇所、話し合いなどの動画資料や作家へのインタビューなど、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めている。</p>		
その他	<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などにより、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。</p>			<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、教科書の全ページについて専門家の校閲を受けている。情報のまとまりが認識しやすいように、各領域の教材名や覚えておきたい知識などは、アイコン・マークを付して示している。</p>		

様式 2

教科名		書写				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい書写一二三年	1	三省堂	現代の書写一二三
取扱内容、内容の構成、並び	<p>○取扱内容については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、楷書・行書の書き方を扱うとともに「生活を広げよう」で伝統的な文字文化として「年賀状」を題材としている。 ・第2学年では、行書と仮名混合の書き方を扱うとともに「生活を広げよう」で創造性を養うとして「本のポップ」を題材としている。 ・第3学年では、効果的に文字を書くとともに「生活を広げよう」で卒業を間近に控えた生徒の思いを表現として「文字を使った作品で表現する活動」を題材としている。 <p>○内容の構成・排列については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写のねらいである、文字を正しく整えて速く書くために必要な知識・技能を「書写のかぎ」と名付けて学習事項を明確化・焦点化し、「書写のかぎ」を核として学習過程を構成している。単元は基本の「生かそう」、活用の「生活に広げよう」の二段階で設定している。 			<p>○取扱内容については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、楷書・行書の書き方を扱うとともに「学びを広げる」で伝統的な文字文化として「平仮名の字源となった漢字の歴史」を題材としている。 ・第2学年では、行書と仮名混合の書き方を扱うとともに「学びを広げる」で行書のさまざまな書き方を理解として「部分別行書一覧表」を題材としている。 ・第3学年では、身のまわりの文字を扱うとともに「学びを広げる」で現代まで受け継がれてきた優れた筆跡として「書の古典」を題材としている。 <p>○内容の構成・排列については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、当該教材で学習すべき書き方のポイントを提示している。「基礎編」や楷書教材では、小学校での学習内容を整理して示している。3年の教材では「篆刻」に関する内容や中国・日本の優れた筆跡を紹介し、書道への関心が広がるよう工夫している。 		
使用上の配慮等	<p>○楷書と行書の学習では、複数の基本単元ごとに学習内容を振り返る「まとめ」ページと、全国学力・学習状況調査や高校入試問題で出題された書写に関する問題を参考に作成した「書写テスト」を設けている。</p> <p>○毛筆基本単元には、「インターネット」を使って見ることができる教材文字の運筆動画（Dマーク）が用紙されている。</p>			<p>○毛筆で学習する教材は見開き2ページで構成し、全ての教材に学習目標と振り返りを設置している。また、毛筆で学習したあとに、さまざまな文字を硬筆で書いて練習する「書いて身につけよう」を設置している。</p> <p>○「資料編」で、さまざまな書式や時候の挨拶の理解として「日常の書式」、毛筆の用具が作られる工程として「書写の広場」を扱っている。</p>		
その他	<p>○デジタル教科書の整備状況については、教科書上のDマークがある単元では、デジタルコンテンツを提供している。制度化された学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応は、色覚の多様性に配慮し、カラーツニバーサルデザインの観点から全ページにわたって専門家による検証を行っている。左利きの生徒を考慮して原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置している。</p>			<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応は、カラーツニバーサルデザインの専門家との指導と校閲のもと、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けている。学習をサポートする役割をもったキャラクターを用いることで、学習者が知識・技能の理解や習得をスムーズに行えるよう工夫している。</p>		

様式 2

教科名		書写				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		教育出版	中学書写	3	光村図書	中学書写一二三年
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○取扱内容については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、楷書・行書の書き方を扱うとともにさまざまな学習活動や社会生活に生かせるよう「礼状・レポート・ポスター・本のポップ」を題材としている。 ・第2学年では、行書と仮名混合の書き方を扱うとともに「学習を生かして書く」で新聞・掲示物・案内状を取り扱い、「書式の教室」で手紙・封筒・一筆箋・年賀状・包み紙・エメール・原稿用紙・小包伝票・願書・志願理由書を題材としている。 <p>○内容の構成・排列については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や学習活動における「生きてはたらく確かな書写力」が育成できるよう教材構成をしている。また、「学習を生かして書く」「学習活動や日常生活に生かして書こう」「書式の教室」では、他教科の学習活動や日常生活との関連に配慮している。 			<p>○取扱内容については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、楷書と仮名の書き方を扱うとともに「コラム」で平仮名の元になった漢字の歴史を探り、「いろは歌」を題材としている。 ・第2学年では、行書と仮名混合の書き方を扱うとともに「国語・学校生活」で国語授業や学校行事に関連させるとして「行書の活用」を題材としている。 ・第3学年では、楷書と行書の使い分けを扱うとともに「コラム」で生徒の身近に存在する「全国文字マップ」、様々な文字がユニバーサルの視点で示されている「新聞」を題材としている。 <p>○内容の構成・排列については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写を学習する目的を明確にし、「何を・どう学ぶか」「何ができるようになったか」「身につけた力をどう生かすか」が生徒自身にもわかる構成にしている。すべての書写要素を効率的に学習できるように、学習内容を焦点化して示し、生徒の発達段階に応じて段階的に排列している。 		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○教材の言葉として、自他を尊重することや、人権に配慮すること、自然を大切にすること、伝統と文化を尊重する態度を養うことに配慮している。</p> <p>○「課題選択教材」を用いることで、自らが課題を設定し、解決に向けて取り組めるよう配慮している。</p>			<p>○綴じ込みの「書写ブック（硬筆練習帳）」には、毛筆の学習を生かして、硬筆で書く活動を豊富に位置づけている。</p> <p>○教材の冒頭には、文字の特徴や書き方のポイントを、生徒が考えたり話し合ったりする活動を位置づけ、中学校で初めて学習する行書の主要教材は4ページ構成とし、基礎・基本がしっかりと習得できるようにしている。また、全教材に、学習のポイントがひと目でわかる「学習の窓」を設定している。</p>		
そ の 他	<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応は、カラーツニバーサルデザインやレイアウト、表現方法・文字（ユニバーサルフォント）などの工夫をしている。中学校で初めて学習する行書は、行書学習特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版を掲載している。</p>			<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応は、カラーツニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときには、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮している。目次や単元名、「学習の窓」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いている。</p>		